

教科	国語	科目	論理国語	学年	3年（普通科、園芸クリエイト科）	単位数	2
教材	教科書	新編 論理国語		出版社名	大修館書店		
	副教材	常用漢字クリア（尚文出版）					

学習の目標	1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けます。 2 論理的、批判的に考える力を伸ばし、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを深めます。 3 言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとする態度を養います。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第Ⅱ部：論理を活用する 1 自己を見つめて探求する力	○ 読み取ったことをふまえて、自分の将来について考えを深めます。	中間 考查
	5月	2 思考を深める 和の思想、間の文化 ミロのヴィーナス	○ 筆者の主張と、それを支える根拠の関係を吟味します。	
	6月	3 社会に向かって 志望先への提出書類 志望理由書を書こう	○ 必要な情報を集め、それらを適切に結びつけて、相手の印象に残る志望理由書を書きます。	期末 考查
	7月	自己推薦書を書こう	○ 自分を客観的に見つめ、材料を膨らませて、説得力のある自己推薦書を書きます。	
2 学期	8月	4 視点を変えて 人類の進化から考える「心」の誕生 ロボットに心はあるか	○ 複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深めます。	中間 考查
	9月	クオリアと心	○ 具体例と主張の関係をとらえ、自分の意見をもち、独特の概念や筆者の主張を的確にとらえます。	
	10月	6 現代を考える 政治の本質 「である」ことと「する」こと	○ 筆者の主張をふまえて、現代社会についての考えを深めます。	期末 考查
	11月	7 未来に目を向けて 人口減少社会の到来 未来の地図帳 エネルギー耕作型文明への転換	○ 対比の役割を意識して本文を読み、筆者の主張を的確につかみます。 ○ 日本社会や世界が抱える課題に関心を持ち、考えを広げたり深めたりします。 ○ 対比の役割に注意して筆者の主張を的確につかみ、自分の考えをもちます。	
3 学期	1月	豊かさにつながり	○ 論理の展開に注意して筆者の主張を的確につかみ、自分の考えをもちます。	学年 末 考 査
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度が身に付いている。

評価の方法	定期考查の得点と授業時の活動や発言、提出課題、小テスト等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 予習をしっかりとしましょう。配布されたプリントは、家庭で自分の力で解きましょう。 2 忘れ物をせず、授業に集中しましょう。忘れ物をすると意欲と理解力が低下します。 3 考查前には、配布されたプリントを見直すなどして必ず復習をしましょう。
-----------	--

教科	地理歴史	科目	地理総合	学年	3年(園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	高校生の地理総合			出版社名	帝国書院	
	副教材	準拠ノート(帝国書院)					

学習の目標	1 様々な地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図等を利用する技能を身に付けます。
	2 地球的課題が互いに関係合っていることを理解し、持続可能な取組について考えます。
	3 人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究します。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画	
1 学期	4月	第1部 1章 地図や地理情報システムと現代世界 1節 地球儀と地図	○ 地球儀や様々な地図から地図や地理情報システムの役割や有用性を理解します。	中間 考査	
	5月	2節 地図と地理情報システム 2章 結びつきを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域	○ 領土問題、世界の国々の結びつきについて地図を通して多面的・多角的に考察し表現します。		
	6月	2節 地図から見る国内や国家間の結びつき			
	7月	第2部 1章 生活文化の多様性と国際理解 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活	○ 世界の生活文化の多様性の背景や世界の生活文化の相互関係を見いだすための地理的見方・考え方を身に付けます。		期末 考査
2 学期	8月	3節 世界の産業と人々の生活 4節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活	○ 世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現します。	中間 考査	
	9月	5節 多様な生活文化と地理的環境 ・東アジア ～ アフリカ ・ヨーロッパ ～ アメリカ ・オセアニア	○ 世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだします。		
	10月				
	11月	2章 地球的課題と国際協力 序説 複雑に絡み合う地球的課題 2節 食料問題	○ 国家の領域の定め方や、地図を通して世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解します。		
	12月	3節 都市・居住問題 4節 感染症・衛生問題 5節 資源・エネルギー問題			期末 考査
	1月	6節 地球環境問題	○ 生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解します。		学年 末考査
3 学期		第3部 1章 自然環境と防災 2章 生活圏の調査と地域の展望			
	2月				
	3月				

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したりしている。
評価の方法	定期考査の得点と授業時の活動や発言、課題レポート、授業ノート、単元ごとのまとめなどの提出物を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 主体的に教科書を読むなど、授業の中で分からないことを解消させていきましょう。 2 小テストや定期考査に備えて、計画的に学習に取り組みましょう。 3 提出物は期限を守って必ず提出するようにしましょう。		

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	3年(園芸クリエイト科 選択)	単位数	2
教材	教科書	高校数学Ⅱ			出版社名	実教出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1	指数関数、対数関数、微分と積分についての理解を深めます。
	2	基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を身に付けます。
	3	数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養います。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	3章 いろいろな関数 3節 指数関数	○指数が0や負の整数および分数の場合について、指数法則を用いて計算ができるようにします。	中間 考查
	5月			
	6月	4節 対数関数	○対数の定義を学び、対数の性質を用いて対数の計算ができるようにします。	期末 考查
	7月			
2 学期	8月	4章 微分と積分 1節 微分の考え	○微分係数や導関数を定義し、その求め方を理解するとともに、微分係数を利用して接線の傾きや方程式を求めることができるようにします。	中間 考查
	9月			
	10月		○導関数の符号から関数の増加、減少を考え、極値を求め、グラフをかくことができるようにします。	期末 考查
	11月			
12月	2節 積分の考え	○不定積分や定積分を求めることができるようにします。		
3 学期	1月		○定積分を利用して、直線や曲線で囲まれた図形の面積を求めることができるようにします。	学年 末 考 査
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	指数関数や対数関数及び微分と積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	指数関数や対数関数の性質を用いて、日常生活における様々な事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、微分と積分の性質に着目し、関数の増減及び直線や曲線で囲まれた図形の面積について論理的に考察する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けようとしている。
評価の方法	定期考查の得点や授業態度、活動状況・課題・小テスト・プリントやノート等の提出物などを各学期で観点別に評価します。それらの評価を用いて学年末の成績とします。		
学習へのアドバイス	1 学習内容全般において、数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図りましょう。 2 問題解決等を通して、物事を筋道立てて考えたり、具体的な手順などを考えてみましょう。 3 指示された範囲の予習をきちんとし、問題意識をもって授業に臨みましょう。		

教科	理科	科目	生物基礎	学年	3年(園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	高校 生物基礎 新訂版			出版社名	実教出版	
	副教材	サンダイアルNavi&トレーニング生物基礎(啓林館)、生物基礎実験ノート・問題集(高教研理科部会生物部門)					

学習の目標	1 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高めます。 2 目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てます。 3 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養います。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月 3章 生物の体内環境とその維持 2節 体内環境の維持のしくみ	○問題演習を通して2年次の学習内容の復習をします。	中間考查
	5月 3節 免疫	○免疫とそれに関わる細胞の働きについて理解します。	
	6月	○生物の体内環境の維持に関する探究活動を行い、学習内容の理解を深めるとともに、生物学的に探究する能力を高めます。	期末考查
	7月		
2学期	8月 4章 生物の多様性と生態系 1節 植生と遷移	○生物の多様性と生態系の成り立ちを理解し、その保全の重要性について認識します。	中間考查
	9月 2節 気候とバイオーム	○陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解します。	
	10月 3節 生態系と物質循環	○気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解します。	期末考查
	11月 4節 生態系のバランスと保全	○生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解します。 ○生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識します。	
3学期	1月 4節 生態系のバランスと保全【探究活動】	○生物の多様性と生態系に関する探究活動を行い、生物学的に探究する能力を高めます。	学年末考查
	2月		
	3月		

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究している。
評価の方法	定期考查の得点と提出課題、小テストなどを資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 授業は集中して臨むこと。また、その日のうちに復習をしましょう。 2 問題集を活用し、知識の定着を行いましょ。う。 3 定期考查には全力で臨みましょう。		

教科	保健体育	科目	体育	学年	3年(普通科、園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	現代高等保健体育			出版社名	大修館書店	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わいます。
	2 課題を発見し、その解決に向けて思考し判断する態度を育てます。
	3 公正、協力、責任、参画、一人一人の違いを大切にする資質や能力を育てます。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1 体づくり運動	○ 南校体操、補強運動や集団走を正確に身に付けます。	中間 考查 期末 考查
	5月	2 陸上競技	○ 集団行動を通し、協力、責任、参画に対する意欲を高めます。	
	6月	3 球技 I	○ 体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。	
	7月	4 体育理論	○ バレーボール、ソフトボール、卓球、テニスの中から選択して活動します。	
2 学期	8月	5 体づくり運動 ダンス	○ 豊かなスポーツライフの設計について学びます。	中間 考查 期末 考查
	9月			
	10月	6 陸上競技	○ 運動会の集団演技の練習を行う中で、集団の中での協調性を養います。	
	11月	7 球技 II (その①)	○ 長距離走を行うことにより、体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。	
	12月	8 体育理論	○ バasketボール、サッカー、卓球、テニスの中から選択して活動します。	期末 考查
3 学期	1月	9 球技 II	○ 豊かなスポーツライフの設計について学びます。	学年 末 考 査
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的、計画的な実施を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能が身に付いている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決方法を思考・判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

評価の方法	授業態度、出席点、スキルテスト、記録、定期考查の得点等日々の学習活動について、観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 「鍛」を目標に体力・気力の充実を図り、たくましく生きる力を身に付けていきましょう。 2 積極的に参加し、自主的に協調性をもって行動しましょう。 3 一人一人が健康と安全に留意して臨みましょう。
-----------	--

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	学年	3年(園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	Amity English Communication II			出版社名	開隆堂	
	副教材	WORD-MEISTER ワードマイスター 英単語・熟語 1700 (第一学習社)					

学習の目標	1 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。 2 物語や説明文などを読んで、情報や書き手の考えなどを的確に理解する力を伸ばします。 3 基本的な語句や文を使って話したり、書いたりして、英語を用いて伝える力を伸ばします。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	Lesson 8 The Mystery of Colors	○ 色にどのような力があるか、奇妙な写真から色の持つ力について考えます。	中間 考査 期 末 考 査
	5月	Lesson 9 Street Performers	○ ストリートパフォーマーが、夢をかなえるためにどのような道をたどるのかを読み取ります。	
	6月			
	7月	Lesson 10 The Culture of Selfies	○ 「自撮り」の始まりが何かを読み取り、自分を表現する方法について話し合います。	
2 学期	8月	復習		中間 考査 期 末 考 査
	9月	Lesson 11 Finland	○ フィンランドについて、そして私たちの生活との関わりを学びます。	
	10月	Lesson 12 In Order to Live a Happy Life	○ 社会で活躍し、幸せな人生を送るために何が必要かを考えます。	
	11月			
	12月	Reading Cremona	○ クレモナという町に住む日本人バイオリニストについて学びます。	
3 学期	1月	復習		学 年 末 考 査
	2月			
	3月			

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 日常的话题や社会的な話題について書かれた文の内容を捉える技能を身に付けている。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して表現する技能を身に付けている。	日常的话题や社会的な話題について、必要な情報を読み取ったり聞き取ったりして、書き手や話し手の意図や概要、要点を捉えている。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手、読み手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて表現し、コミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	定期考査の得点と、授業における各活動や課題等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 予習・授業・復習のサイクルを大切にし、積極的に英語を使うことに努めましょう。 2 アクセントやイントネーションに気を付け、繰り返し発音・音読練習を行いましょう。 3 文法事項や重要表現を理解し、英語で表現する練習をしまししょう。		

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅱ	学年	3年(園芸クリエイト科 選択)	単位数	2
教材	教科書	MY WAY Logic and Expression Ⅱ			出版社名	三省堂	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を伸ばします。 2 グローバル社会の中で、人としてのものの見方や考え方を養い、自ら考えて表現できる力を養います。 3 世界のさまざまな言語や民族の個性を学び、国際理解のための資質を養います。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	Lesson 1 I Love My Country!	○ 様々な時制の動詞を使って、好きな場所を紹介する原稿を書きます。	中間 考查
	5月	Lesson 2 The New Wave of Sports	○ 助動詞表現を使って、最新のものをご紹介します。	
	6月	Lesson 3 The Future of Technology	○ 受動態や不定詞を使って、贈り物について説明する文章を書きます。	
	7月	Lesson 4 Rediscover Kabuki	○ 不定詞・知覚動詞・使役動詞を使って、日本の文化をご紹介します。	
2 学期	8月	Lesson 5 Will Our Lives Change with AI?	○ 動名詞や分詞構文を使って、社会の状況と職業についてのレポートを書きます。	中間 考查
	9月	Lesson 6 Experience Madagascar's Wildlife	○ 比較表現を使って、世界や日本で有名な場所をご紹介します。	
	10月	Lesson 7 Can We Go and Live on Mars?	○ 関係詞を使って、火星での生活についてのレポートを書きます。	
	11月	Lesson 8 Language and Society	○ 仮定法を使って、「もし○○がなければ」というタイトルの発表をします。	
3 学期	12月	Lesson 9 Send Our Love to the World	○ 否定表現や代名詞を使って、社会問題についての発表原稿を書きます。	学年 末 考 査
	1月			
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	外国語の音声や語彙、表現、文法言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語の音声や語彙、表現、文法言語の働きなどの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報を整理しながら、外国語で適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手に配慮しながら主体的、自律的に外国語を用いて表現活動を行おうとしている。
評価の方法	定期考查の得点と、授業における各活動や課題等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 予習・授業・復習のサイクルを大切にし、積極的に英語を使うことに努めましょう。 2 アクセントやイントネーションに気を付け、繰り返し発音・音読練習を行いましょう。 3 文法事項や重要表現を理解し、英語で表現する練習をしまししょう。		

教科	農業	科目	課題研究	学年	3年(園芸クリエイト科)	単位数	3
教材	教科書	特になし			出版社名		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 興味・関心をもてる内容について自ら課題を設定します。 2 計画を立て、毎時間の活動の準備から片付けまでを全て自分たちで行います。 3 課題解決のために、調査・研究・実験・作品制作等を行い、考える力や解決する力を身に付けます。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1 テーマの設定	○1年間を有意義かつ無理なく活動するために、自分たちの興味・関心のあるテーマを設定し、テーマ発表を行います。 ○研究テーマに沿った、自分たちの個性的な年間計画をつくります。 ○調査・観察・実験等を通して、日々の活動を正確に記録しながら、科学的な結果を導き出せるよう取り組みます。	
	5月	2 計画		
	6月	3 調査・研究の開始		
	7月			
2 学期	8月	4 計画の変更	○1学期を終え、自分たちの研究に対して変更や修正の必要がないかを検討します。 ○調査・観察・実験等を通して、日々の活動を正確に記録しながら、科学的な結果を導き出せるよう取り組みます。 ○1年間の活動をまとめるとともに、発表会の準備を行います。	
	9月	5 調査・研究の開始		
	10月	6 調査・研究のまとめ		
	11月			
3 学期	12月		○課題研究発表会を通して、相手に分かりやすく伝える方法や工夫を身に付けます。	
	1月	7 発表会		
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	課題研究に関する基礎的・基本的な知識を身に付けているとともに、自然の大切さを理解している。 課題研究に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、適切に活用して判断し、環境に配慮しながら研究内容を合理的に計画している。	課題研究に取り組む中で、自ら思考を深め、創意工夫する能力を身に付け、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現している。	課題研究について関心を持ち、自ら研究課題を選択し、意欲的に取り組むとともに、創造的、実践的な態度を身に付けている。
評価の方法	計画の立案、調査・研究の実施、まとめ、発表、記録簿、研究に取り組む姿勢などを資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 農業に関する分野の中から、自分の興味・関心のあるテーマを選び研究を行きましょう。 2 授業では学習する機会の少ない資格の取得や、専門的な学習に挑戦しましょう。 3 主体的に考えて取り組み、自分が決めた目標を達成する努力をしましょう。		

教科	農業	科目	総合実習（生物活用）	学年	3年（園芸クリエイト科 園芸サービス類型 選択）	単位数	5
教材	教科書	特になし			出版社名		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 実習を通して園芸セラピーの実践的な技術を身に付けます。 2 高齢者や地域との交流を図ることにより、豊かな人間性を養います。 3 実習を通して園芸作物の栽培方法を学習します。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	総合実習ガイダンス		
	5月	第1章 園芸セラピーのプログラム (1)プロジェクト研究の計画・立案	○園芸セラピー活動の1年間の活動内容を計画・立案します。	中間 考査
		(2)農園芸活動とプロジェクト実施 ・夏野菜の栽培 ・施設での農園芸活動	○プロジェクト研究の計画・立案、実践を行います。	
	6月	・プロジェクト研究活動 ・植物を用いた作品制作 ・園芸セラピーにおける交流活動	○介護施設ほ場で、園芸セラピーに配慮した栽培を行います。 ○園芸セラピーの知識や技術を用いた交流活動について学習します。	
7月	・GAPを意識した管理 ・農作物の加工	○GAPについて学習します。 ○農産物を用いた加工品を行います。		
2 学期	8月	第2章 交流活動の実践 (1)介護福祉施設での交流活動の実践	○介護施設の行事に参加し、コミュニケーション能力を養います。	中 間 考 査
	9月	第1章 園芸セラピーのプログラム (3)農園芸活動とプロジェクト実施 ・秋冬野菜の栽培 ・施設での農園芸活動	○介護施設ほ場で、園芸セラピーに配慮した栽培を行います。	
		10月	・プロジェクト研究活動 ・植物を用いた作品制作 ・農作物の加工	
	11月	第2章 交流活動の実践 (2)交流による園芸セラピー活動実践	○園芸セラピーの知識や技術を用いた交流活動を行います。	
	12月	第3章 交流活動の評価とプロジェクト研究のまとめ (1)プロジェクト研究のまとめと発表	○発表のための資料をまとめます。 ○プロジェクト研究の発表を行います。	
3 学期	1月	(2)園芸セラピー活動のまとめ	○1年間の活動内容をまとめます。	学 年 末 考 査
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	野菜栽培に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、野菜の栽培環境や栽培管理を正しく理解している。園芸セラピーに関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	園芸セラピーに関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	園芸セラピーに関して思考を深め、基礎的な知識と技術を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けるために粘り強く取り組むなど、自らの学習を調整しようとする態度を身に付けている。
評価の方法	各学期の定期考査の得点と授業時の活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 園芸セラピーを必要としている人に対して、適切な栽培アドバイスできる能力を身に付けましょう。 2 野菜の栽培を通して地域の人、高齢者との交流を通して豊かな人間性を養いましょう。 3 適切な服装で安全な実習を心掛けましょう。		

教科	農業	科目	総合実習(地域資源)	学年	3年(園芸クリエイト科 園芸生産類型 選択)	単位数	5
教材	教科書	特になし			出版社名		
	副教材	特になし					

学習の目標	1	農業の各分野に関する実験・実習等の体験的な学習を通して、農業に興味・関心を高めます。
	2	実際の経営・企画や管理する力など総合的な技術を身に付けます。
	3	作物栽培を中心に、地域資源の保全や活用までの幅広い学習を行います。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1 サトイモの栽培 (1)サトイモの植え付け	○サトイモの植え付け方法を理解し、知識や技術を習得します。	期末考查
	5月	2 ジャガイモの栽培 (1)ジャガイモの収穫	○ジャガイモの収穫方法を理解し、知識や技術を習得します。	
		3 サツマイモの栽培 (1)サツマイモの定植	○サツマイモの定植方法を理解し、知識や技術を習得します。	
	6月	4 イネの栽培 (1)イネの移植 (2)水田管理	○田植えの方法を理解し、知識や技術を習得します。 ○水田管理を理解し、技術を習得します。	
	7月	3 サツマイモの栽培 (2)サツマイモの管理	○サツマイモの栽培管理を理解し、知識や技術を習得します。	
2 学期	8月	1 サトイモの栽培 (2)サトイモの管理	○サトイモの栽培管理を理解し、知識や技術を習得します。	期末考查
	9月	2 サツマイモの栽培 (3)サツマイモの収穫	○サツマイモの収穫方法を理解し、知識や技術を習得します。	
	10月	3 イネの栽培 (3)収穫と調製	○イネの収穫と調製方法を理解し、技術を習得します。	
	11月	1 サトイモの栽培 (3)サトイモの収穫	○サトイモの収穫方法を理解し、知識や技術を習得します。	
	12月	4 地域資源の活用 (1)大豆の生産	○ダイズを収穫し、加工までの知識や技術を習得します。	
3 学期	1月	4 地域資源の活用 (2)サギソウの管理	○サギソウの管理方法を理解し、知識や技術を習得します。	学年末考查
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	作物に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、作物の栽培環境や栽培管理を正しく理解している。 作物栽培に関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	作物栽培に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	作物栽培に関心をもち、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。

評価の方法	各学期の定期考查の得点、活動・観察記録やノート、実習及び授業や農業クラブ活動に取り組む姿勢等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
学習へのアドバイス	1 実験・実習等の体験的な学習を通して、総合的な技術を身に付けましょう。 2 作物の栽培を中心に、地域資源の保全や活用までの幅広い学習に取り組みましょう。 3 目標を達成するため、積極的にみんなと協力して取り組みましょう。

教科	農業	科目	草花	学年	3年(園芸クリエイト科)	単位数	3
教材	教科書	草花		出版社名	実教出版		
	副教材	特になし					

学習の目標	1 草花を育てる技術を身に付けるとともに、品質と生産性の向上など草花栽培について学習します。 2 草花栽培の面白さと奥深さを体験し、草花栽培に対する関心や意欲を醸成します。 3 草花について、専門的に学び、草花のスペシャリストを目指します。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月	第4章 草花の特徴と栽培技術 第1節 草花の生育と環境 第2節 品種改良と繁殖	○ 草花の一生について学習します。 ○ 草花の品種と品種改良技術、繁殖方法について学習します。	中間考查 期末考查
	5月	第5章 切り花生産 第4節 宿根草の切り花 ②キク	○ 懸崖菊の栽培管理技術について学習します。	
	6月	③カーネーション	○ カーネーションの栽培管理と出荷調整について学習します。	
	7月			
2学期	8月	第4章 草花の特徴と栽培技術 第3節 草花の生育と栽培技術 第4節 生産施設と栽培環境の調節	○ 草花の生育と栽培管理について学習します。 ○ 生産施設の機能や構造、複合的環境制御について学習します。	中間考查 期末考查
	9月	第5章 切り花生産 第4節 宿根草の切り花 ② キク	○ 懸崖菊の栽培管理と開花調節技術について学習するとともに、菊花展を通して販売と販売準備について学習します。	
	10月	第6章 鉢もの生産 第3節 鉢花もの ② シクラメン	○ シクラメンやポインセチアの栽培管理と出荷調整について学習します。	
	11月	④ ポインセチア		
12月				
3学期	1月	第5章 切り花生産 第2節 切り花の品質保持	○ 切り花の品質と品質管理技術について学習します。	学年末考查
	2月	第8章 草花経営の改善 第1節 草花の生産と経営	○ 環境保全型草花生産と環境認証プログラムについて学習します。	
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	草花栽培についての知識を高め、基礎的・基本的な内容を理解している。 草花栽培の実習を真剣に取り組む、定植・整枝・誘引・育苗などの技能を身に付けている。	学習の内容を記録・観察し、プリントやレポートなどにまとめる能力を身に付けている。	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	各学期の定期考查、課題・小テスト・ノート、実習及び授業に取り組む姿勢や栽培物の管理状況等を観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 懸崖菊の栽培を中心として、草花の高品質栽培について学習しましょう。 2 基本的な知識・技術だけでなく、園芸的なセンスも鍛錬しましょう。 3 難易度の高い栽培管理を通して、完成したときの達成感を味わいましょう。		

教科	農業	科目	生物活用	学年	3年(園芸クリエイト科 園芸サービス類型 選択)	単位数	2
教材	教科書	生物活用			出版社名	実教出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 野菜や草花の栽培を通して、園芸作物の活用に必要な知識と技術を習得します。 2 園芸作物を用いた作品制作のための知識と技術を習得します。 3 社会動物の飼育と活用について学習します。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第3章 園芸作物の栽培と活用 (1)草花・野菜の栽培と活用 ・ 室内園芸装飾	○ 室内装飾の活用ポイントを学習します。	中間 考查
	5月	・ 観葉植物・多肉植物の栽培 ・ 作品製作	○ 観葉植物・多肉植物を利用した作品製作を行います。	
	6月	・ 農産物の加工と利用 ・ 地域緑化・都市緑化	○ GAPの考えを取り入れた活動を行います。 ○ 室内装飾の実践をします。 ○ 農産物を利用した加工について考えます。 ○ 地域や都市緑化について学習します。	
	7月	・ バリアフリーとユニバーサルデザイン	○ ユニバーサルデザインの実際を学習します。	期末 考查
2 学期	8月	第2章 生物を活用した療法	○ 動物がもたらす効用について考えます。 ○ 動物介在療法について学習します。	中間 考查
	9月	(1)生物を活用した療法 (2)動物介在療法		
	10月	第4章 動物の飼育と活用 (1)愛玩動物の飼育と活用 ・ 種類と特性	○ イヌやネコの種類と特性について学習します。	
	11月	・ 飼育と管理	○ イヌやネコの活用について学習します。	
	12月	(2)愛玩動物に関連するビジネス	○ 動物を活用したビジネスについて考える。	期末 考查
3 学期	1月	第3章 園芸作物の栽培と活用 (2)農産物の活用 ・ 作品製作 ・ 農産物の加工と利用	○ 室内装飾作品を製作します ○ 農産物を利用した加工を行います。	学年 末 考 査
	2月			
	3月			

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	生物活用に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、栽培環境や栽培管理を正しく理解している。 生物活用に関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	生物活用に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	生物活用に関心をもち積極的に質問に答え、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。
評価の方法	各学期の定期考查の得点と授業時の活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 野菜栽培を通して栽培の基本的技術を学習しましょう。 2 家庭でも役立つ園芸作物の知識や栽培技術を習得しましょう。 3 園芸作物の活用方法が身に付く体験学習をノートに記録しましょう。		

教科	農業	科目	食と健康	学年	3年(園芸クリエイイト科 選択)	単位数	3
教材	教科書	食と健康			出版社名	今治南高等学校	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 ダイズの栽培から加工までに必要な知識と技術を実習を通して習得します。 2 ジャム・ビスケット・麺類・ハム・ベーコンなどの加工食品の製造工程を理解します。 3 地産地消や安心安全な食品についての知識や技術を習得します。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1 学期	4月	第1章 食と生活のつながり	○食育基本法の意義や背景を学習します。 ○私達の食事と世界や健康とのつながりを学習します。	中間考査 期末考査
	5月	第2章 ダイズの特徴	○豆の種類について学習します。 ○ダイズの特徴について学習します。	
	6月	第3章 穀物の加工	○マドレーヌの製造工程を学習します。	
		第4章 ダイズの栽培	○ダイズの栽培について学習します。 ○ダイズの播種について実習を行います。	
	7月		○畑の準備を実習します。 ○ダイズの定植実習を行います。 ○定植後の管理実習を行います。 ○中耕・除草・土寄せの実習を行います。	
2 学期	8月		○中耕・除草・土寄せ・病害虫防除の実習を行います。 ○ダイズの結きょうの観察を行います。	中間考査 期末考査
	9月	第5章 発酵醸造食品	○味噌・醤油の製造工程を学習します。	
		第6章 GAPとHACCP	○GAP制度について学習します。 ○GAPとHACCPへの取組を学習します。	
	10月	第7章 小麦の加工	○パンの製造工程を学習します。 ○パンの製造実習を行います。	
	11月	第8章 ダイズの加工	○うどんの製造工程を学習します。 ○豆腐の製造原理や工程を学習します。 ○豆腐の製造実習を行います。	
12月	第9章 畜産物の加工	○ハム・ベーコンの製造を学習します。 ○ハム・ベーコンの製造実習を行います。		
3 学期	1月	第10章 食と郷土の関わり	○地産地消について学習します。	学年末考査
	2月			
	3月			

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	食と健康に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生産物の栽培環境や栽培管理を正しく理解している。 製造実習に関する基礎的な技術を身に付けている。食品加工の製造工程を正しく理解してその技術を適切に活用している。	食と健康に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	食と健康に関心をもち、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。

評価の方法	各学期の定期考査の得点と平常点で算出します。平常点は、活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 食品製造実習を行うので、衛生的で正確な実習を心掛けましょう。 2 ダイズの栽培から加工のプロジェクト学習を行います。正確な記録を心掛けましょう。 3 身の回りの食品表示や包装に気をかけて、安心安全な食品に興味関心をもちましょう。
-----------	--

教科	農業	科目	グリーンデザイン	学年	3年(園芸クリエイト科 園芸サービス類型)	単位数	3
教材	教科書	グリーンデザイン			出版社名	今治南高等学校	
	副教材	特になし					

学習の目標	1	屋外・屋内において、根の付いた草花・樹木を用いて、豊かな生活空間を作り出します。
	2	花壇や添景物の作製などを通し、季節に応じた庭園・庭木の管理ができるようになります。
	3	生活環境面の向上に役立つ園芸作物の活用について学習し、家庭・校外外の緑化を推進します。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画	
1 学期	4月	1 グリーンデザインとは	○学習の位置付けをします。 ○育成と環境について学習します。 ○夏の草花の播種とさし芽の方法を学習し播種・さし芽・挿し木を行い、育苗環境について学び実践します。 ○生活空間の室内の構成要素を学びます。 ○観葉植物の種類や管理の方法を学習し、鉢替えや増殖について実践します。 ○初夏に咲く花木の、花後の管理について学習し、実践します。 ○管理作業の工程管理を確認する。 ○庭園の剪定やかん水を実践します。	期末考査	
	5月	2 緑化植物の育成			
	6月	3 グリーンインテリア			
	7月	4 庭園管理			
2 学期	8月	5 造園樹木の分類と管理	○樹木の分類について学習します。 ○農場や本校の樹木の名前を確認します。 ○低木樹木の剪定を学習し、実践します。 ○庭園の除草・かん水を実践します。 ○展示台の設置・菊鉢の配置・学習展の展示物の準備をします。	期末考査	
	9月				
	10月				6 菊花展の準備
	11月				7 造園樹木の管理
3 学期	12月	8 造園庭石	○岩石の成因による分類を学習します。 ○庭石として利用・観賞上の種類・分類を学び、図面で配置を考えて作図します。	学年末考査	
	1月	9 庭園設計の基礎			
	2月				
	3月				

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	グリーンデザインに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、草花・造園樹木の栽培管理を正しく理解している。 作業に使う道具に関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	播種・植え付け・管理方法に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	草花・造園樹木に関心をもち、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。

評価の方法	各学期の定期考査の得点と授業時の活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 草花・造園樹木の名前を正しく覚え、どこで見かけたかを記録し、常に関心を持ちましょう。 2 播種・植え付け・管理方法の基礎基本を反復実践し、基礎基本を身に付けましょう。 3 作業に使う道具の名称を覚え、使い方の基本を学び、安全に実習する態度を養いましょう。
-----------	---

教科	農業	科目	園芸セラピー	学年	3年（園芸クリエイト科 園芸サービス類型 選択）	単位数	2
教材	教科書	福祉のための農園芸活動			出版社名	農文協	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 心身に障がいを持った人に対して園芸作物の持つ特性を生かした取組を学習します。 2 園芸を通して地域や高齢者との交流を図り、豊かな人間性を養います。 3 園芸作物を育てる基礎的な知識・技術を学習します。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考査計画
1学期	4月 第1章 農園芸活動のすすめ (1) 社会をいやす農業・園芸 (2) 農園芸の楽しさと難しさ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 園芸セラピーの意義を学びます。 ○ 園芸セラピーの歴史を学びます。 ○ 農園芸活動の効果について学習します。 	中間考査
	5月 第4章 農園芸活動の実際 (1) 効果的なプログラム (2) プログラムの作成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 効果的な農園芸活動のプログラムについて学習します。 ○ 安全な農作業について考えます。 ○ 家庭で栽培プロジェクトを行います。 	
	6月 (3) 植物の栽培・利用の流れとプログラムの展開（果菜類の栽培）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉的に配慮した野菜栽培の実践を行います。 ○ GAPの効果について考えます。 ○ 福祉施設での菜園管理を行います。 	
2学期	8月 (4) 植物の栽培・利用の流れとプログラムの展開（草花類の栽培）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農園芸活動の効果を学びます。 ○ 安全な農作業について考えます。 ○ 福祉的に配慮した草花栽培の実践を行います。 	中間考査
	9月 (5) 植物の栽培・利用の流れとプログラムの展開（多肉植物の栽培）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉的に配慮した多肉植物利用を実践します。 ○ 安全な作業について考えます。 	
	10月 ・多肉植物の栽培実践	<ul style="list-style-type: none"> ○ 栽培に必要な知識・技術を学びます。 ○ 多種類の作品制作を行います。 	
	11月 ・多肉植物の活用 ・作品制作 ・交流活動の実践	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校や地域で交流活動の実践を行います。 ○ 家庭で栽培プロジェクトをまとめます。 	
3学期	12月		
	1月 第3章 無理せずできる農園芸活動の展開 (1) 無理のないプログラムの作成 (2) 福祉的な農園芸活動の技術 (3) 農園芸作業を容易にする工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農園芸活動援助プロセスを学びます。 ○ 福祉的な配慮に基づいた農作業に必要な注意事項を学習します。 	学年末考査
	2月		
3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	農園芸活動に関する基礎的で基本的な知識を身に付け、農園芸福祉の重要性を正しく理解している。 農園芸活動に関する基礎的な技術を身に付けている。管理方法に合わせてその技術を適切に活用している。	農園芸活動に関して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	園芸セラピーに関心をもち、授業態度が意欲的である。活動・観察記録票やノートを継続して記入し、実習に意欲的に取り組む姿勢が見られる。

評価の方法	各学期の定期考査の得点と授業時の活動・観察記録やノート、実習及び授業に取り組む姿勢などを観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 園芸セラピーについて基本的な学習をしましょう。 2 年間を通じ、実習を通して系統的に野菜栽培の基礎を学習しましょう。 3 安全に実習する態度を養いましょう。
-----------	--